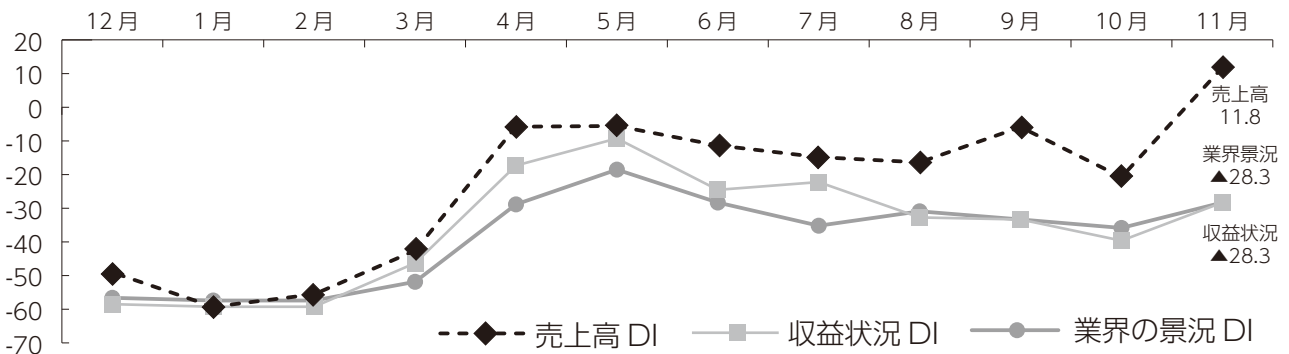


## 売上高は増加するも先行きを不安視

### 概況

対前年比で全体の売上高DIがプラスに転じ、改善への期待が高まり、商店街ではイベントの再開によって賑わいがみられた。しかし、燃料・原材料価格の高騰の影響で収益は圧迫されている。また、資材の供給が不安定であること、新たな変異株の出現など、今後の動向を不安視する声が聞かれた。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石	☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
	機械・金属	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	—	☁️	☁️
	小売業	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☀️
	サービス業	☁️	—	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
	建設業	☀️	—	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️
	運輸業	☀️	—	☀️	☁️	☁️	☁️	—	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数 × 100

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> コロナに落ち着きがみられ、駅構内やデパ地下での売上が好調。一方、業務用やカフェ・レストラン向けは依然として厳しい状況が続く。</p> <p><b>[菓子]</b> 全体的には低調で推移するものの、徐々に慶事・弔事に関連する注文が入るようになった。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物]</b> 婦人服地は原材料価格の高騰もあり先行きが見えない状況。和装関係については、成人式関連の動きが一部にみられるものの厳しい状況が続く。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[コンクリートブロック]</b> コロナが落ち着いてきており、安定した操業が可能になった。しかし、原材料・燃料価格が上昇しており、収益の圧迫を懸念。</p> <p><b>[生コンクリート]</b> ほぼ全県で出荷量が前年を上回った。特に高崎地区が好調。以前より出荷の落ち込みがみられていた東毛地区でも先月から回復が顕著となった。</p> <p><b>[碎石]</b> 吾妻地域は冬季前のまとまった工事により好調に推移。西毛地域の業務量は不変だが、車両不足が深刻化している。渋川・沼田地域は公共工事の発注が少なく売上が減少。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[めっき]</b> 半導体装置・工作機械関連は好調が続く、自動車部品も好調に転じた。一方、更なる薬品類の値上げによる収益状況の悪化を懸念。また、人材確保に苦慮している企業が多くみられる。</p> <p><b>[機械金属（大泉町）]</b> 鋼材価格の値上がりにより収益を圧迫。また、電線に使用する端子やコネクタ類が品薄状態となっている。解消の見通しも立たず、先行き不透明感が増す。</p> <p><b>[自動車関連]</b> 自動車関連部品メーカーでは、慢性的な半導体部品の供給ひっ迫を原因とする生産計画や人員配置の調整に苦慮し、厳しい状況が続く。</p> <p><b>[機械金属（館林市）]</b> 設備操業度は上昇し、売上高は増加しており、先行きに期待を抱く。しかし、原材料・燃料価格の値上がりにより収益状況は悪化した。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材]</b> 原木量が減少しており仕入価格が高騰した。販売単価は前月比では減少しているが、前年比では上昇しているため売上高は増加した。</p> <p><b>[紙製品]</b> 設備操業度は上昇し売上高も増加した。しかし、製造に関する副資材の値上げが相次ぎ収益を圧迫。さらに、主資材の段ボール原紙の値上げも通知されている状況。</p> <p><b>[砂利採取]</b> 売上高・生産量がともに増加するも、燃料・資機材が高騰しており生産コストが上昇。収益状況は悪化した。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[各種商品（高崎市）]</b> 組合員企業で新築・建替え・リニューアル工事が進んでいる。高度化事業や事業再構築補助金を活用する企業もみられる。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[燃料]</b> 原油価格は、前年比では35円/ℓ程度の値上がり。石油備蓄放出により12月は小売価格の値下がりが予測されるも、先行きは不透明。</p> <p><b>[生花]</b> イベントや集会在再開されているが、規模の縮小を懸念。重油価格の値上がりより、生花の仕入コストが上昇している。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[高崎市]</b> 感染防止対策を講じつつイベントを開催し、活気が戻ってきている。高崎市による「高崎市おでかけ食事券」の発行が後押しとなり、飲食店でも賑わいがみられる。</p> <p><b>[沼田市]</b> 2年ぶりに「えびす講大売出し」が開催され、過去最高の来場者数を記録した。ただ、冬支度の買い物ではなく、食べ歩きを楽しむ姿が目立った。</p>
<b>サービスマ</b>	<p><b>[伊香保温泉]</b> 紅葉シーズンを迎え、愛郷ぐんまプロジェクトの再開により、家族や小グループを中心に予約が入った。GoToトラベルキャンペーンが好影響であった前年には及ばず、客足は前年比8割程度にとどまった。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設]</b> 公共工事の減少、民間需要の停滞傾向が続く中、群馬県に対して事業継続に向けた予算要望を行った。</p> <p><b>[電気工事]</b> 半導体不足の影響で製品の納入が遅れ、工期への影響を不安視。また、銅線関係の資材の値上がりが続く。</p> <p><b>[塗装工事]</b> コロナの収束、資材の入荷遅延等の影響で、工期の短い工事が増加している。また、原材料・燃料価格の値上がりにより利益が伸び悩む。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 燃料価格は若干ではあるものの引き続き値上がり、前年対比では約1.4倍と高騰している。また、ディーゼル車の排気ガスを浄化する尿素水の供給不安が高まり、価格が高騰する中、確保に向けた対応に追われる。荷動きは低調で、庸車を手配していた企業も自社対応する様子が窺える。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。